(平成29年5月1日現在)

生徒数 単式学級数 複式学級数

小学校	児童数	単式学級数	複式学級数	
平戸小	397	13	0	
田助小	70	6	0	
中野小	49	4	1	
根獅子小	33	0	3	
紐差小	123	6	0	
中津良小	26	2	2	
堤小	18	0	3	
津吉小	79	6	0	
志々伎小	35	2	2	
野子小	29	2	2	
生月小	120	6	0	
山田小	104	6	0	
田平北小	223	9	0	
田平南小	66	4	1	
田平東小	70	6	0	

30

42

2

2

2

2

度島小

大島小

3 3 1/2	70	1 = 0 3 11/1/2/	12203 111121	1 3 124		1 = 0 3 100,000	12203 117127
平戸小	397	13	0	平戸中	242	7	0
田助小	70	6	0	中野中	26	3	0
中野小	49	4	1	中部中	76	3	0
根獅子小	33	0	3	南部中	82	3	0
紐差小	123	6	0	野子中	15	1	1
中津良小	26	2	2	生月中	113	4	0
堤小	18	0	3	田平中	158	6	0
津吉小	79	6	0	度島中	24	3	0
志々伎小	35	2	2	大島中	18	3	0

複式学級を有する学校

注目

複式学級

2つ以上の学年の児童生徒を1つの学級 に編制した学級。担任は1人なので、担任 が一方の学年の指導をしている時に、もう 一方の学年は自分たちで学びを進めること で自主的な学習習慣が身につくが、各学年 に十分な指導時間が確保しづらい。また、 体育や音楽などの集団で行う学習で、十分 な人数が揃わず、学習内容に制約が生じる。 「今日の授業のテーマ」

一学校の統廃合による平戸の学び舎を考える

将来を担う子どもたちによりよい教育環境を

子どもの気持ちになって考えてみてください。

- 1. 学校は近くにあったほうがいいですか?
- 同級生の友達は、どれくらいいたほうがいいですか?
- 3. みんなが勉強しやすい学校はどんな学校ですか?

特集





校17校のうち9校、

中学校9校のう 今後児童生徒

る「複式学級」を有する学校は、小学

また、2つの学年が1つの学級とな

ち1校となっており、

約40%の児童生徒が減少しています。 と比較すると、小学校・中学校とも ドが速く、平成17年10月1日の時点

市が目指す学校の将来像は 「複式学級の解消」

の社会性を育むためには、 学校の適正配置・適正規模を進めて もらった上で、複式学級の解消に向け は、保護者や地域住民から理解して を維持することが必要です。本市で 示しているような|定規模の学級集団 想されます。その中で、子どもたち し、学校の小規模化も進むことが予 本市の児童生徒数は、徐々に減少 国や県が

な学級規模が望ましいとされています 替えによる学級活動の活性化が可能 班以上(全体で12人以上)となり、 効果的とされる4~ 学年1学級でも、少人数での活動が ことが望ましい」となっています。 学級以上、中学校3学級以上とする ら「複式学級を解消できる小学校は6 離島・郡部を多く有していることか の限りではない」とされています。 県においては、全国と比較して、 6人の班編成で3 班

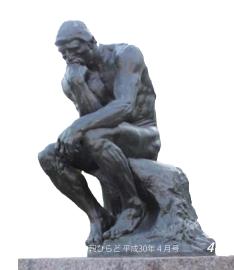
態など特別の事情がある場合は、

国・長崎県の考え方

増えることが予想されます。

数が減少するにつれて、複式学級は

学級以下を標準とするが、地域の実 「小学校の学級数は、12学級以上18 国の基準となる学校教育法では



全国的な少子高齢化社会

日本の人口は、平成17年を境に減

な問題となっています。本市において 少傾向にあり、少子高齢化は全国的

全国平均よりも少子化のスピー

ado City Public Relations,2018.4



全員での校歌斉唱。会場からは、最後の校歌斉唱に目頭が熱くなる参加 者も多くいました。

には会場全員で中津良小学校 お別れの言葉を発表し、最後 が無くなっても、 心の中でずっとずっと続いてい 校の歴史は、皆さん|人|人の にあらわれます。そして、本 津良小学校は皆さんの心の中 くのです」と話しました。 た日々を思い出した時に、中 ふと本校で過ごし たとえこの校舎

	中津民	包小点	学校沿革史		
	明治	7	中津良小学校開校		
		20	中津良尋常小学校と改称		
		38	中津良尋常高等小学校と改称		
	大正	2	校舎増築(平屋)		
	昭和	3	校舎改築		
		30	市制施行により平戸市立中津良小学校と改称		
		37	中津良小学校堤分校廃止		
		47	校舎改築(鉄筋2階建・教室棟完成)		
		50	へき地集会所(体育館)建設		
		52	プール建設		
		54	校舎改築(鉄筋2階建•管理棟完成)		
		55	中津良小学校猪渡谷分校廃止		
	平成	7	全国学校体育研究大会		
		12	学校給食文部大臣表彰		
		14	九州ブロックPTA協議会表彰		
		17	日本河川協会表彰(中津良川プロジェクト)		
		19	第3回学校自慢工コ大賞優秀賞受賞		







だ学校が無くなることに、 民の皆さんにとっては、学ん

腸の思いをされていると思い

小学校の灯りが消え去ること

にとても複雑な気持ちです

卒業生、

を得ない状況の中で、

中津良

や適正配置を行うこともやむ

減少期を迎え、学校の統廃合

少子高齢化に伴う児童数の

- 閉校式には、市内外から 歴代の先生や卒業生など約 300人が出席しました。
- 2. 中津良小学校最後の校 長、平田校長による校旗返 納。143年分の思い出が詰 まった校旗をしっかりと握り、 平戸市教育委員会の小川教 育長へ返納しました。
- 3. 教え子や担任の先生との 久しぶりの再会。中津良小 学校での思い出は、みんな の心の中にずっと残っていく ことでしょう。



の心の中から無くなることは 校は無くなりますが、皆さん て、制度としての中津良小学 年3月31日をもって、

中津良

閉校を迎えました。

式典で、平田賢校長は「本

小学校は閉校します。

形とし

心より感謝状を贈ります



さようなら そして ありがとう

中津良小学校

ました。ピーク時は505人

308人が卒業し

(堤分校と合わせて)の児童が



中津良小学校閉校記念誌

143 年の歴史に幕を閉じる中津良小

齢化により、児童数は年々減 いましたが、過疎化と少子高

し、本年度、26人の在校生

学び舎がなくなっても、中津良小の歴史と伝統はみんなの心の中に

閉校式が行われました。

立の小学校で、 中津良小学校は、

平成27年度 明治7年 2月24日、中津良小学校で

4千人が巣立った学び舎





もに人生のアルバムに刻んでく た地域住民の交流の場として しいことや出会い、 **嬉しいこと、楽しいこと、** もたちの教育の場として、 別れとと

明治、 43年の長きに渡り、 大正、昭和、 平成と

Hirado City Public Relations, 2018.4



お別れの言葉を発表し、 には会場全員で堤小学校校歌 その後、 ます」と話されました。 全校児童による



に向かって歩んでいく子ども だまっすぐな姿で津吉小学校

たちを心から応援したいと思

無くなってしまうので寂しく の登下校や学校での思い出が なれば、堤町での子どもたち い出となっています。

閉校と

なりますが、堤小学校で学ん

- 閉校式には、市内外から歴代 の校長・教諭や卒業生など約 200人が出席しました。
- 2. 児童お別れの言葉では、一人 一人が堤小での思い出を話し 最後に「僕たち、私たちの堤小学 校、たくさんの思い出をありがと う」と大きな声で発表していまし た。
- 3. 堤小学校最後の校長、吉田校 長が平戸市教育委員会の小川教 育長へ校旗を返納しました。



堤小学校閉校記念誌

地域の皆さんには、これから 育んでいくこととなります 支援・ご協力をよろしくお願 も引き続きこれまで同様のご いします」と話しました。 これからもこの堤町で

姿で新しい学校へ堤小で学んだまっすぐな

地区区長の日髙勇司さんは をしたことが忘れられない思 が火災となり、 ににぎわっていたことや、 運動会で地域の皆さんと一緒 「私たちが子どものころは 閉校式実行委員長で、 公会堂で授業 学校 堤小学校沿革史



30



町|校の伝統を受継いで

校式が行われま 3月4日、 堤小学校で閉

児童数は年々減少し、本年度 近年の少子高齢化などにより、 校として独立した時には、 開校し、昭和37年に堤小学 30人の児童がいましたが、 津良小学校の堤分教場として 堤小学校は、 明治44年中

とも大切な人としての土台作 らうことはできませんが、もっ 統廃合という時の流れには逆 ころはこれまでどおり堤町 なるのは、 校となります。 一町一校のこの 「本校は、3月31日をもって閉 ように素晴らしい学校が無く 式典で、 統合されても育つと 大変忍びないこと 吉田きよみ校長は

なければならないのは、子ど

もたちの成長だと思います

より多くの友達と出会い、

や卒業生にとっては、大変寂

しく悲しい限りだと思います。

今一番に考えていか

くなることは、

地域の皆さん

につけ、 こで協力は

心も体も強い人間に

競争力などを身



子どもの成長を第一に 育委員会をはじめ関係者と幾 校児童19人と少なくなり、 では少子高齢化や過疎化で全 私が小学生だった時代は、 610年間お世話になり 八近くいた子どもたちが、 私自身も、 この堤小学校の 保護者として 教 今 80



合を受け入れ、 度となく協議した結果、統廃 堤町唯一の学校がな 閉校を決意し

Hirado City Public Relations, 2018.4

平成17年以降の学校統廃合の経緯

学校名	閉校日	統合先	学校名	閉校日	統合先
中野小学校主師分校	平成18年3月31日	中野小学校	宝亀小学校	平成23年3月31日	紐差小学校
野子中学校高島分校	//	野子中学校	志々伎小学校早福分校	//	津吉小学校
野子小学校高島分校	//	野子小学校	中津良小学校	平成30年3月31日	津吉小学校
獅子小学校	平成22年3月31日	紐差小学校	堤小学校	//	津吉小学校
大川原小学校	平成23年3月31日	紐差小学校			

平戸市学校適正規模検討委員会の委員として



平戸市学校適正規模検討委員会

委員長 氏田 裕也さん



平戸市学校適正規模検討委員会 PTA代表 勢良 学さん

学校を統廃合して教育環境の維持を

学校教育では、教科などの知識や技 能を身につけ学力を向上させることだけ でなく、社会の構成者としての資質を養 うことを目的としています。特に、児童 生徒の社会性の発達や個性の伸長を考 えた時、同年代の集団の中でさまざま な経験をすることで、自分と違う考えを 知り、互いを認め合い、協力し合い、切 磋琢磨することが重要になります。この ような目的を達成するためには、一定の 学校規模が必要です。

少子高齢化の影響で、市内の学校の 児童生徒数も減少傾向にあり、市として 適正な児童生徒数を確保することで、教 育環境を維持していくためにも、統廃合 は避けては通れないことだと考えます。

保護者、地域も一体となって子どもを育てる

学校は、地域にとっても心のよりどこ ろという側面もあるかと思います。自治 会組織をはじめ、さまざまな組織や活動 があり、コミニュティの施設としても活 用されています。このようなことから、 地元自治会にも配慮しながら、時間をか けて議論を進めてほしいと思います。

今後も支援していきます

また、学校が無くなっても地域住民と 子どもたちが交流できるよう、これから は保護者が地域行事などに子どもたちと 一緒に参加してほしいと思っています。 そして、地域の大人たちとふれあいな がら、その地域の伝統や文化を学んで いってもらいたいです。

> はどうあるべきか、 の将来を見据えて、 政的な合理化ではなく、

という観点から取 その育ちの環

境

子どもたち



津吉小学校の先生と子どもたち

小学校の子どもたちは、 れるものではありません。 域の住民の理解が無け もあります。 とってはかけ にぎやかな学校生活を送ることができ た地域の拠点であり、 閉校した中津良 がえのない そのような状況で、 笑顔で楽し 心の拠り れば、 小学校、 から津 堤

学校は長い歴史の中で育 地域住民に 進めら

今後の方向性

未来の子どもたち、そして地域のために 今、学校に求められることは

子どもたちにとって望ましい教育とは何なのか。また、地域住民にとって学校の役割とは何なのか。 平戸市では、学校と保護者、地域が一緒によりよい学校づくりを目指し、議論していきます。

な方向性が示されています

現状を踏まえて、



学級を基準に小学校は12~18学級 会を設置し基本方針を策定しました を受けるのは、 国から示されている方針は、 柔軟な学校規模を示 既存の学校に通ってい 9学級を適正な規模 それでも平戸市の 将来を担う子ど 検討委員 を実

学校の統廃合によって、 最も影響 学校の適正規模・適正配置の

状況では、

実現は難しい規模となって

ために基本方針を策定

廃校後の施設は、

緒になって利活用を検討 地域住民と

の場だけでなく、 点や交流の場であることなどを踏ま 地域の子どもたちの 人たちの理解を得られる 地域の文化的な拠 行政だけで そのた 学び

旧大川原小学校は、廃校後市内の福祉施設の作業所として、活用されてい

学校の統廃合における 平戸市の基本方針

統廃合に対する基本姿勢

- ◆今後、完全複式学級がある学校を対象とする
- ◆対象となる学校には、協議会を設置する (構成員:学校、PTA、地区代表、市教委)
- ◆移行期間は2年間を基本とする (1年間の協議と移行までの交流学習など)
- ◆交通手段の確保と廃校後の地元利活用を配慮

廃校後の施設の利活用に関する方針

- ◆検討委員会を設置し、全庁的に取り組む
- ◆行政財産への転用、普通財産の地元管理など、 優先順位をもって検討する
- ◆地元自治会などが利用する場合は、貸付料の 減免について検討する
- ◆利活用が見込めない場合は、処分を検討する

11 Hirado City Public Relations, 2018.4